







日野川ブロック河川整備計画の変更について

凡例

- ①国管理区間 
- ②九頭竜川水系下流部ブロック 
- ③九頭竜川水系中流部ブロック 
- ④九頭竜川水系上流部ブロック 
- ⑤九頭竜川水系日野川ブロック 
- ⑥九頭竜川水系足羽川ブロック 



今回の主な変更点

① 狐川

⇒令和元年度で全工事区間の整備を完了したため、
河川整備の実施に関する事項を削除する

② 志津川

⇒新たに河川整備の実施に関する事項について
定める

【日野川ブロック】計画的に工事を実施する区間

~~(8)~~ 狐川 (完了) **今回削除**

福井市角折町(日野川合流点)～福井市花堂中2丁目
L=約6,500m
(自然観察拠点, 階段, 飛び石, 魚道, 植栽)
福井市角折町(狐川排水機場) 排水ポンプの増設

(2) 志津川 **今回追加**

福井市大森町～福井市滝波町
L=約2,200m (河道拡幅, 河床掘削, 護岸工)

(1) 日野川 ①清水山区

福井市清水山町
L=約100m (護岸工, 橋梁架替)

~~(5)~~ (6) 天王川

越前町市(市姫橋)～宝泉寺
L=約2,000m (築堤工, 河道拡幅, 河床掘削, 護岸工)

~~(6)~~ (7) 吉野瀬川・吉野瀬川放水路

越前市家久町～芝原1丁目 L=約2,400m
鯖江市鳥井町～下司町 L=約630m (今回追加)
(放水路, 築堤工, 河道拡幅, 河床掘削, 護岸工)
ダム

(履歴)

平成19年2月 策定
平成21年8月 第1回変更
(吉野瀬ダム変更)
平成29年9月 第2回変更
(吉野瀬川放水路変更)
平成31年3月 第3回変更
(服部川変更)
令和4年 第4回変更
(今回)

凡 例	
	: 河川整備の対象河川
	: 計画的に河川工事を実施する区間・ダム
	: 既設ダム
	: 既設可動堰
	: 既設ポンプ

~~(2)~~ (3) 江端川

福井市江端町～下河北町
L=約2,600m (河道拡幅, 河床掘削, 護岸工)

浅水川 (完了) 削除済

福井市三尾野町(日野川合流点)
～鯖江市鳥羽町(福井鉄道橋梁)

鞍谷川 (完了) 削除済

鯖江市下河端町(浅水川合流点)
～越前市新堂町(服部川合流点)

~~(3)~~ (4) 河和田川

鯖江市落井町(鞍谷川合流点)～河和田町(天神川合流点)
L=約4,200m (築堤工, 河道拡幅, 河床掘削, 護岸工)

~~(4)~~ (5) 服部川

越前市新堂(鞍谷川合流点)～朽飯町(水間川合流点)
L=約2,500m (河道拡幅, 河床掘削, 護岸工)

(1) 日野川 ②村国工区

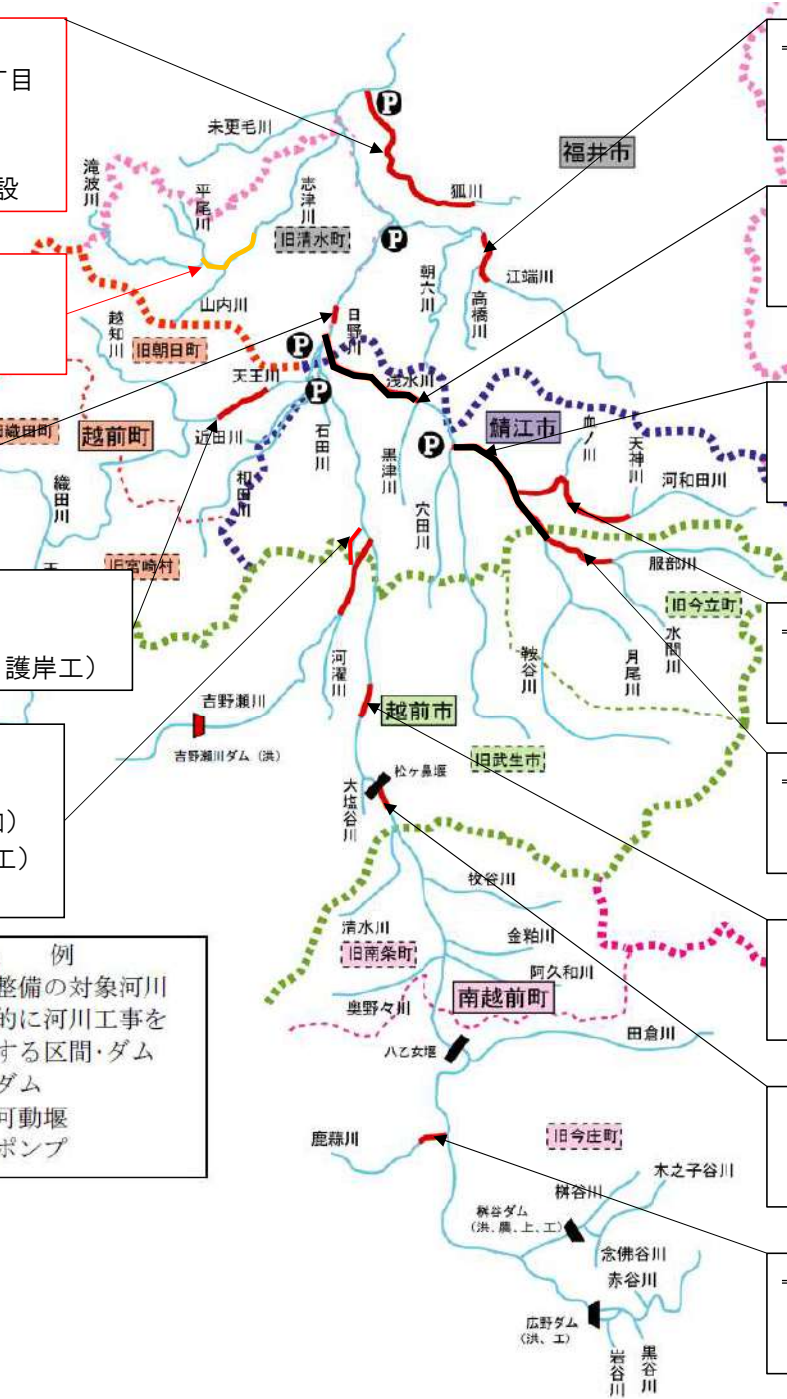
越前市村国
L=約350m (築堤工, 護岸工)

(1) 日野川 ③下平吹工区

越前市下平吹町
L=約400m (築堤工, 護岸工)

~~(7)~~ (8) 鹿蒜川

南越前町今庄(今庄橋)～南今庄
L=約800m (河道拡幅, 河床掘削, 護岸工)



赤文字は今回変更箇所を示す。

① 狐川

進捗点検（第10回九頭竜川流域懇談会（H30.5.29））

河川整備計画 進捗点検	No.09	整備計画本文との対応（ページ）		整備 目標年 H31
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P15~16	P42~43	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (9) 狐川		
	内容	狐川の河川整備 ・ 福井市角折町地先（日野川合流地点） ～福井市花堂中2丁目までの約6,500m区間		
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】
平成18年度～平成31年度

【指標】
整備進捗率(%)
= 6,330(m) ÷ 6,500(m) × 100
= 97 %

位置図
工事区間 L:約6,500m

＜凡例＞
■ 施工済箇所
■ 未施工箇所

横断面（イメージ）
植栽
みお祈

b 今後予定箇所
平成29年4月撮影

a 工事着手前
平成22年4月撮影

a 工事完成後
平成24年8月撮影

② 整備時の配慮事項の確認

河川環境の整備については、住民、自治体、河川管理者などの関係者間の緊密な連携と協働、情報の共有により、協力関係を築き上げるとともに、住民主導型で計画の立案を進めます。

- 狐川における動植物の生息・生育環境を復元するとともに、子供たちが水辺に近づきやすく、水とふれあえる、「自然体験の場・環境学習の場」として整備を行うために、平成17年3月に「水辺の楽校プロジェクト」として登録を受け、地域住民・専門家・行政の協力により、環境整備を行ってきた。
- 沿川住民を対象とした整備計画の説明会や、工事における現場見学会を実施した。
- 沿川の社西小学校の小学6年生を対象とした「川の環境授業」を実施し、狐川の自然再生事業の取り組みやその意義について紹介した。

整備計画の説明および意見交換会
平成29年3月撮影

地域の小学校を対象とした環境授業の実施
平成29年1月撮影

現場見学会の実施
平成28年11月撮影

工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
日野川合流点 ～福井市花堂中2丁目	[Red bar indicating completion by H29]		
	H19 年度	H29 年度	H39 年度
			H49 年度

点検結果の考察

- 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。

第10回九頭竜川流域懇談会 資料2「日野川ブロック河川整備計画の点検個票」P.20～21より抜粋

工事期間 平成18年度～平成31年度
整備進捗率 97%（平成30年度時点） で報告

河川整備計画の記載削除

○狐川においては整備計画に記載された工事が全て完了したため、記載を削除する。

(8) 狐川

河川工事の目的：都市化の進行による水質の悪化とともに、河川の自然環境が損なわれてきたことから、地域の人々が次第に川と触れ合うことが少なくなりました。

狐川では、地域住民、行政、専門家の協力により、狐川における動植物の生育・生息環境を復元するとともに、子供たちが水辺に近づきやすく水とふれあえる、自然体験の場・環境学習の場として整備を行っており、国土交通省の「水辺の楽校プロジェクト」の登録を受けています。

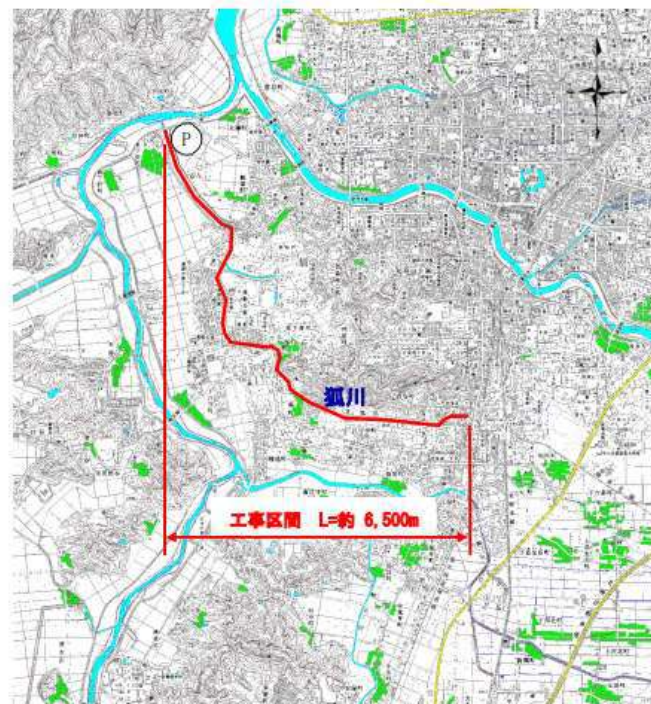
ここでは、「地域住民が主体となって狐川を守り育てる」という地域の意見を尊重しながら、川と地域の人々との関わりを再構築する活動を支援します。

河川工事の場所：福井市角折町地先（日野川合流地点）～福井市花堂中2丁目地先までの約6,500m区間

河川工事の種類：自然観察拠点、階段、飛び石、魚道、植栽

整備にあたり配慮する事項：

河川環境の整備については、住民、自治体、河川管理者などの関係者間の緊密な連携と協調、情報の共有により、協力関係を築き上げるとともに、住民主導型で計画の立案を進めます。



この地図は、国土院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。

図 5.31 平面図

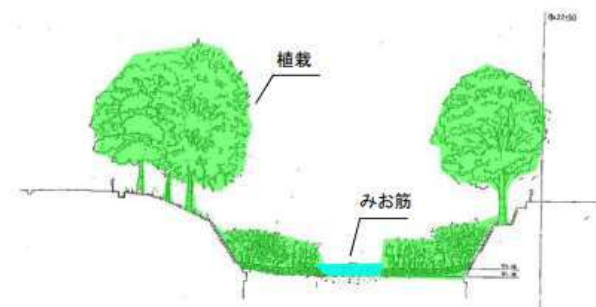


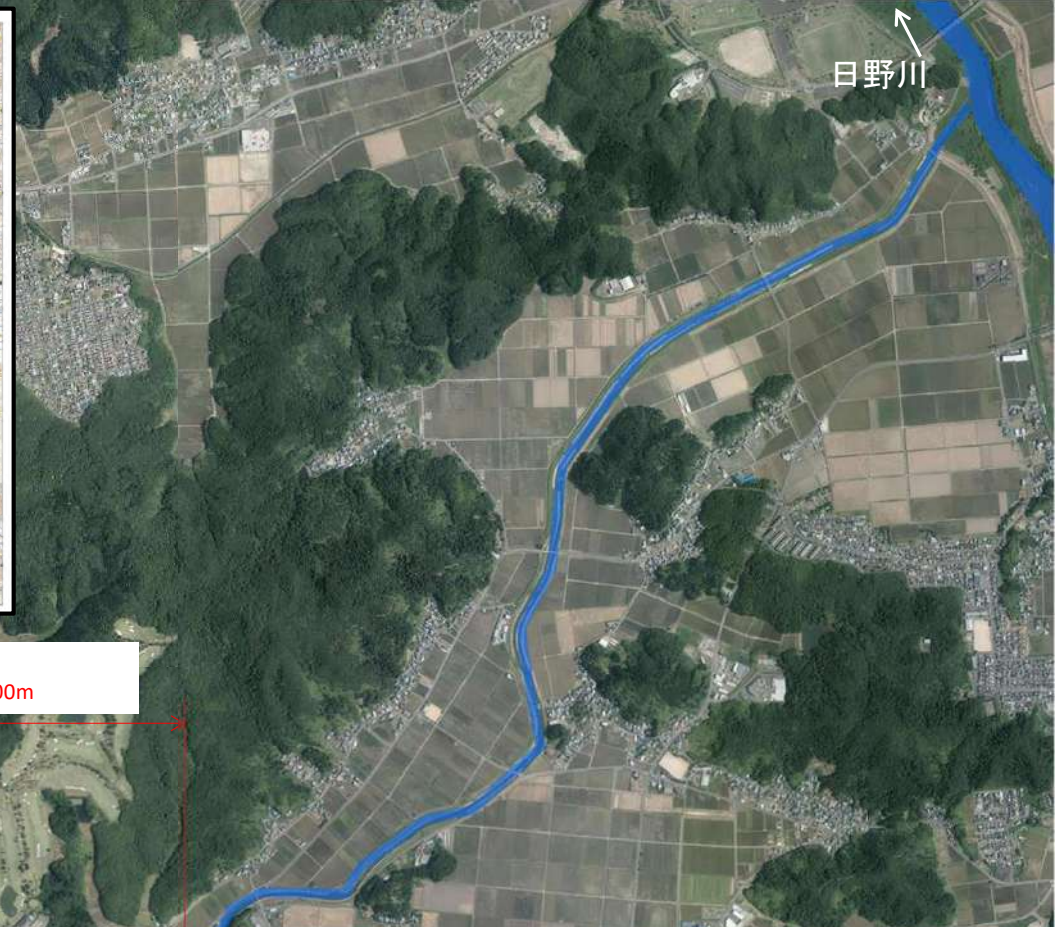
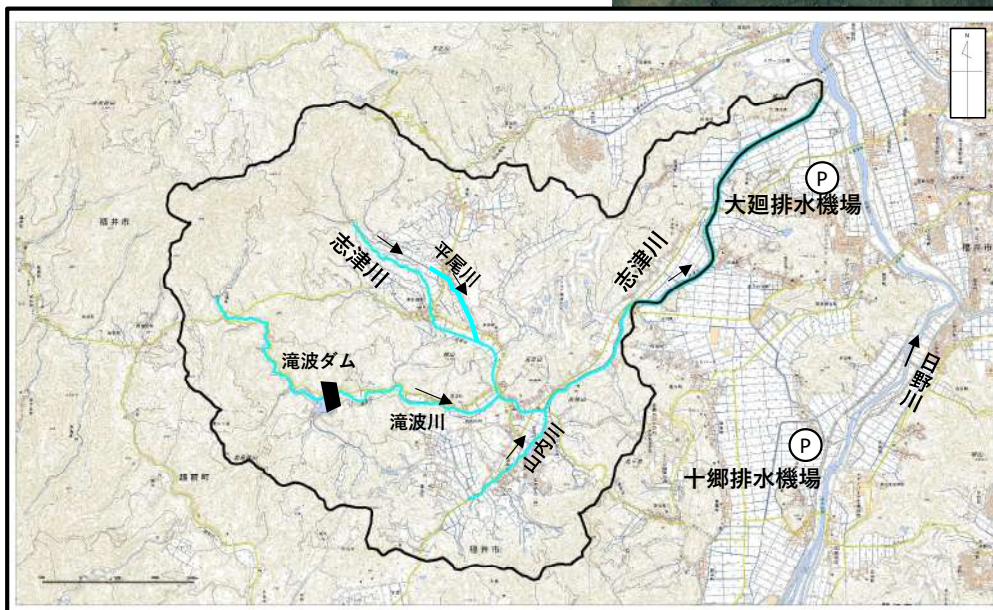
図 5.32 横断面図 (イメージ)

平成29年9月 (旧)

➡ 削除

②志津川

流域概要



【志津川流域の概要】

流域面積 : 32.2 km²
幹川流路延長 : 8.97 km
流域内人口 : 約4,100人※
主な市町村 : 福井市
※福井市人口統計より算出

工事区間
L = 約2,200m

滝波ダム
【目的】農地における洪水被害を防止するために洪水調節を行う。
【構造】ロックフィルダム
【計画総調節量】426,000m³



河道状況

- 下流区間は築堤河川であり、堤内地は耕作地となっている。
- 上流区間においては、河床勾配がややきつく、両岸に家屋が近接している。

写真②上流区間

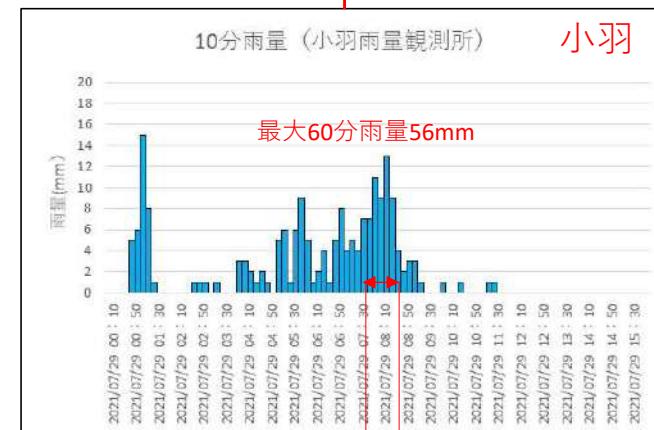
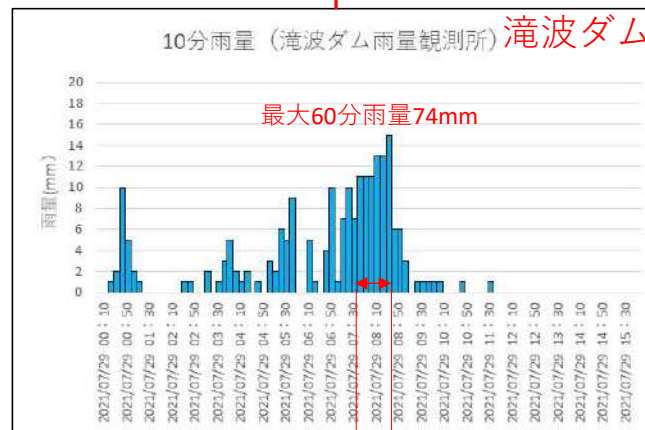
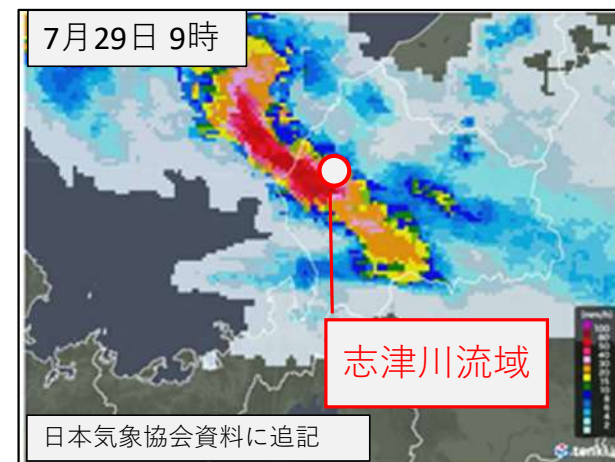
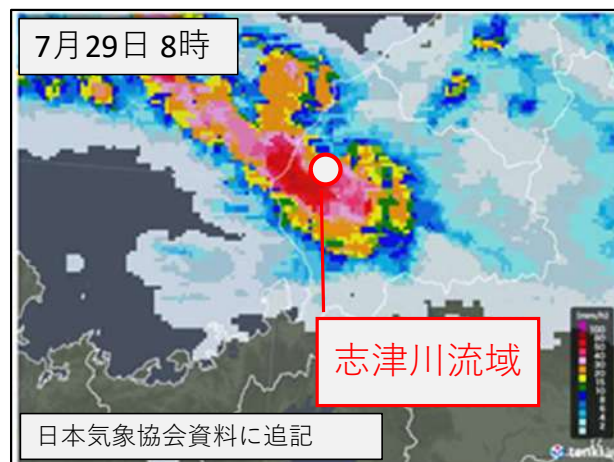
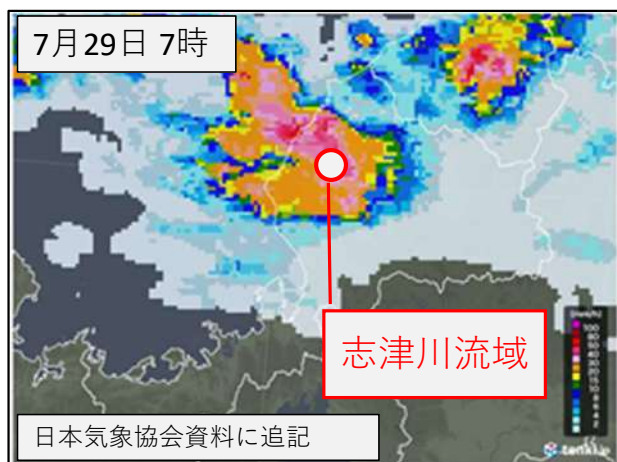


写真①下流区間



令和3年7月29日の降雨

- 台風から変わった日本海の低気圧に向かって暖かく湿った空気が北西から流入
- 福井市を中心に局地的に猛烈な降雨を観測
- 志津川流域周辺の雨量観測所で記録された当時の雨量を見ると、志津川上流域で特に大きな雨量を観測した。（上流：滝波ダム雨量観測所で60分雨量74mm、下流：小羽雨量観測所で60分雨量56mm）



滝波ダム

小羽

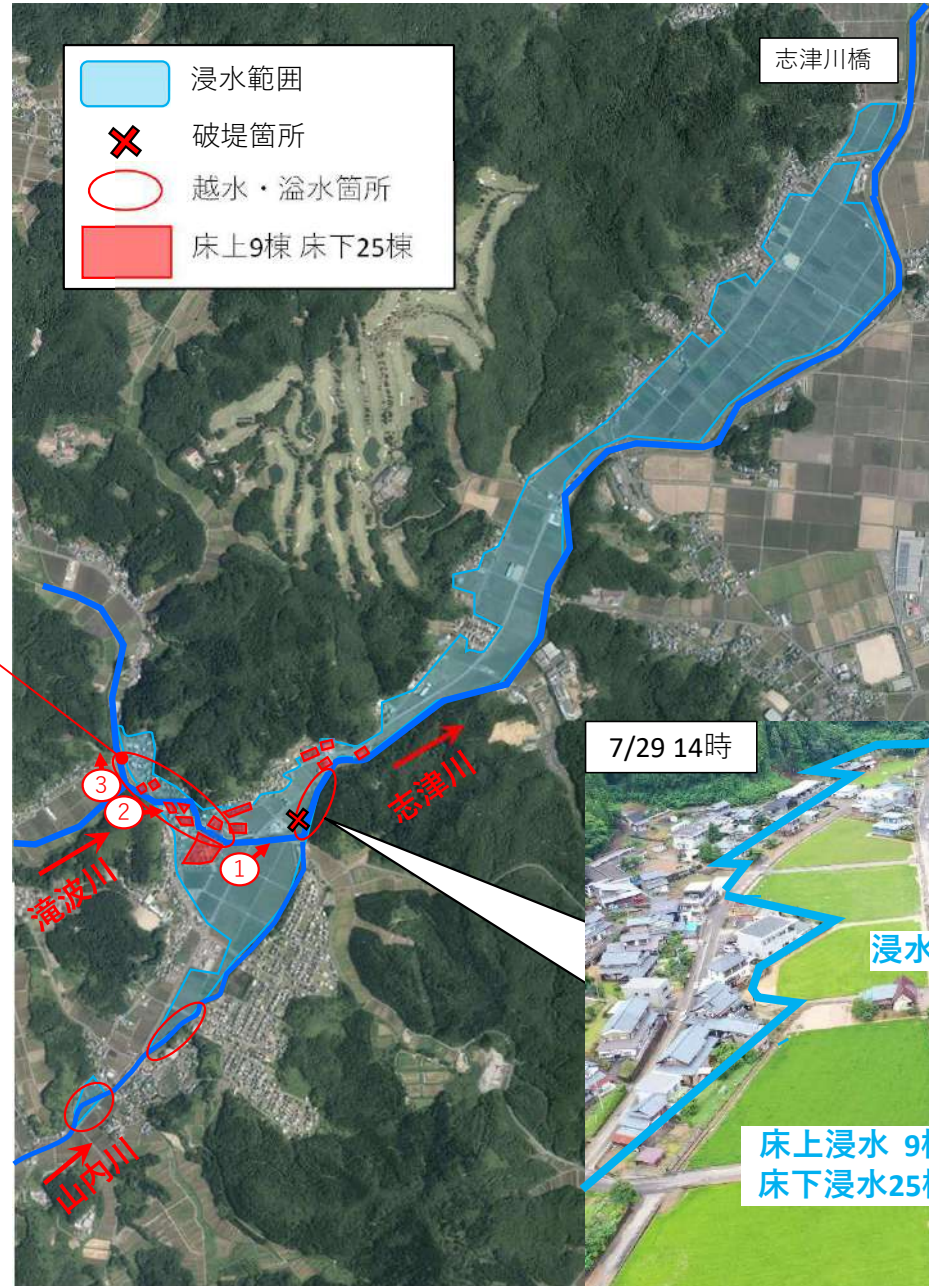
志津川

7:50 8:50

7:40 8:40

令和3年7月29日の洪水被害

- 令和3年7月29日に志津川で越水、堤防の決壊が発生し、家屋に浸水被害（床上9棟、床下25棟）が発生。



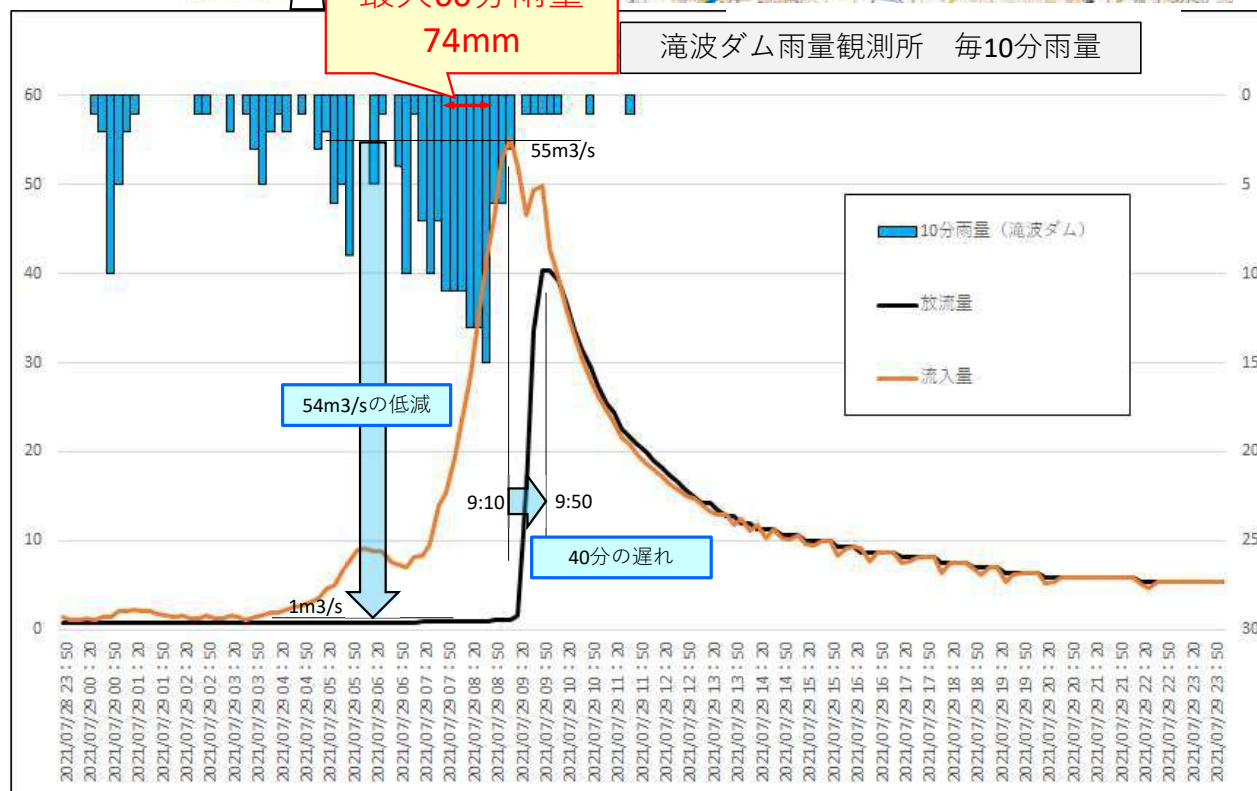
令和3年7月29日降雨における滝波ダムの洪水調節効果

- 28日13時から24時間の24時間雨量は滝波ダム雨量観測所で250mmとなった。
- 滝波ダムで洪水流量のカットをしていた。また、滝波川ピーク時刻を破堤推定時刻9時より遅らせている。

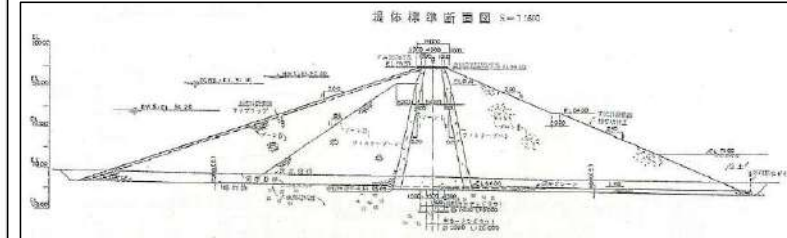
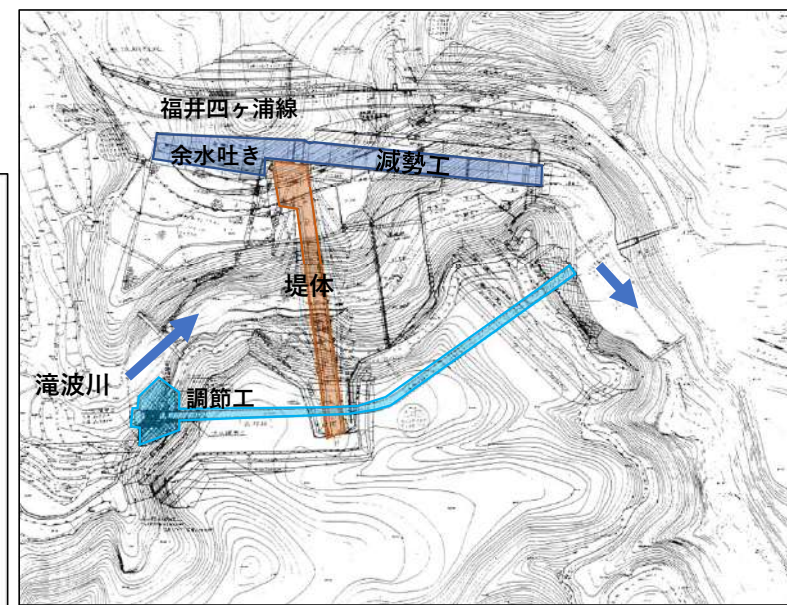


最大60分雨量
74mm

滝波ダム雨量観測所 毎10分雨量

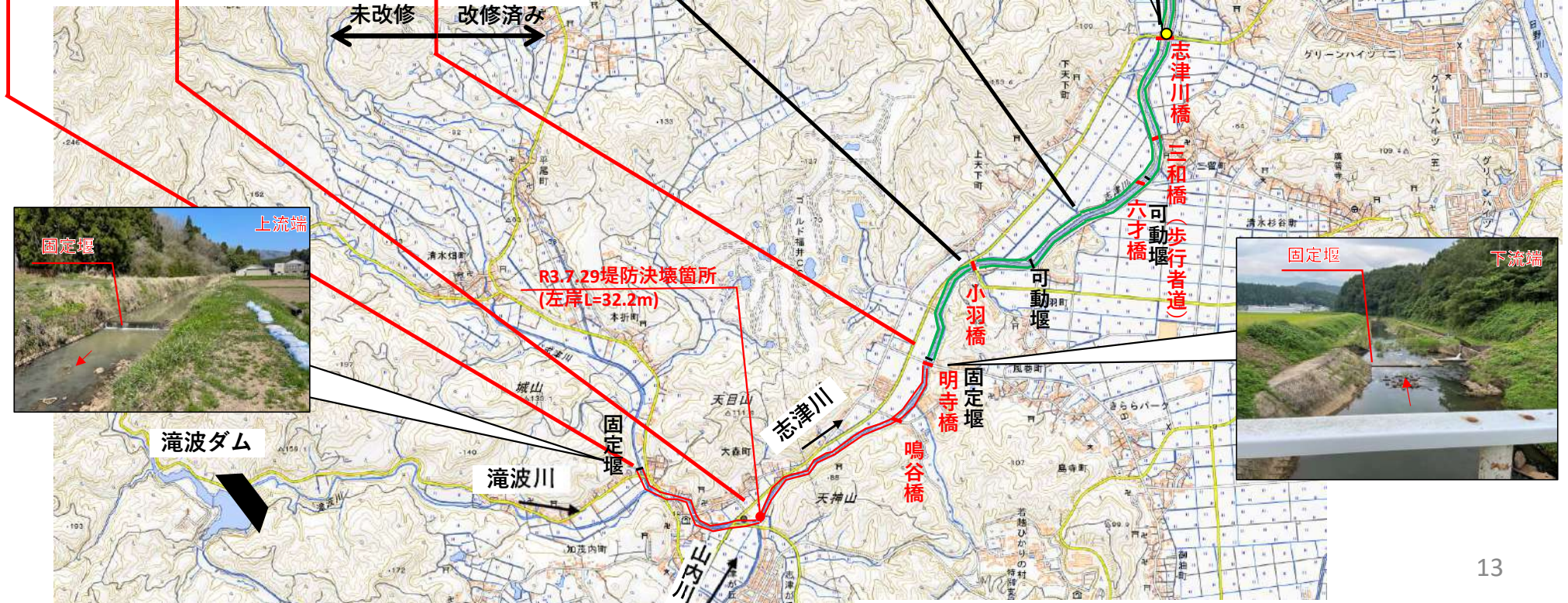
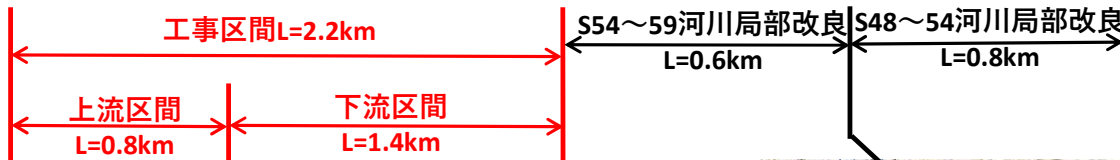
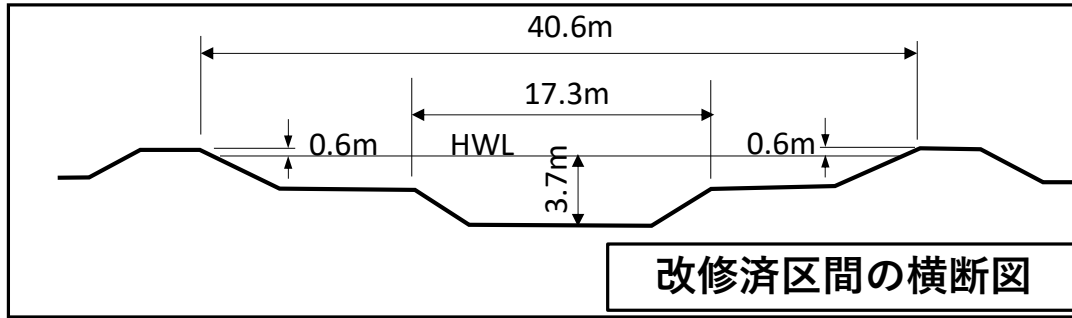


滝波ダム
 【目的】農地における洪水被害を防止するために洪水調節を行う。
 【構造】ロックフィルダム
 【計画総調節量】426,000m³



志津川の改修状況、工事区間

- 日野川合流点～固定堰（明寺橋付近）までは $185\text{m}^3/\text{s}$ を目標流下能力とした改修が完了している。
- 未改修区間のうち、R3.7.29洪水で浸水被害が発生した区間を工事区間とする。



災害復旧計画（下流区間1.4km）

- 越水および破堤が発生した区間は、「越水させない原形復旧」として、復旧対象流量を安全に流下できるように、**被災流量**で河川災害復旧事業を行う。
- 下流で流下能力が不足する未改修区間については、防災・減災対策等強化推進事業費を活用して、河川災害復旧事業の区間と**同規模の改修**を行う。

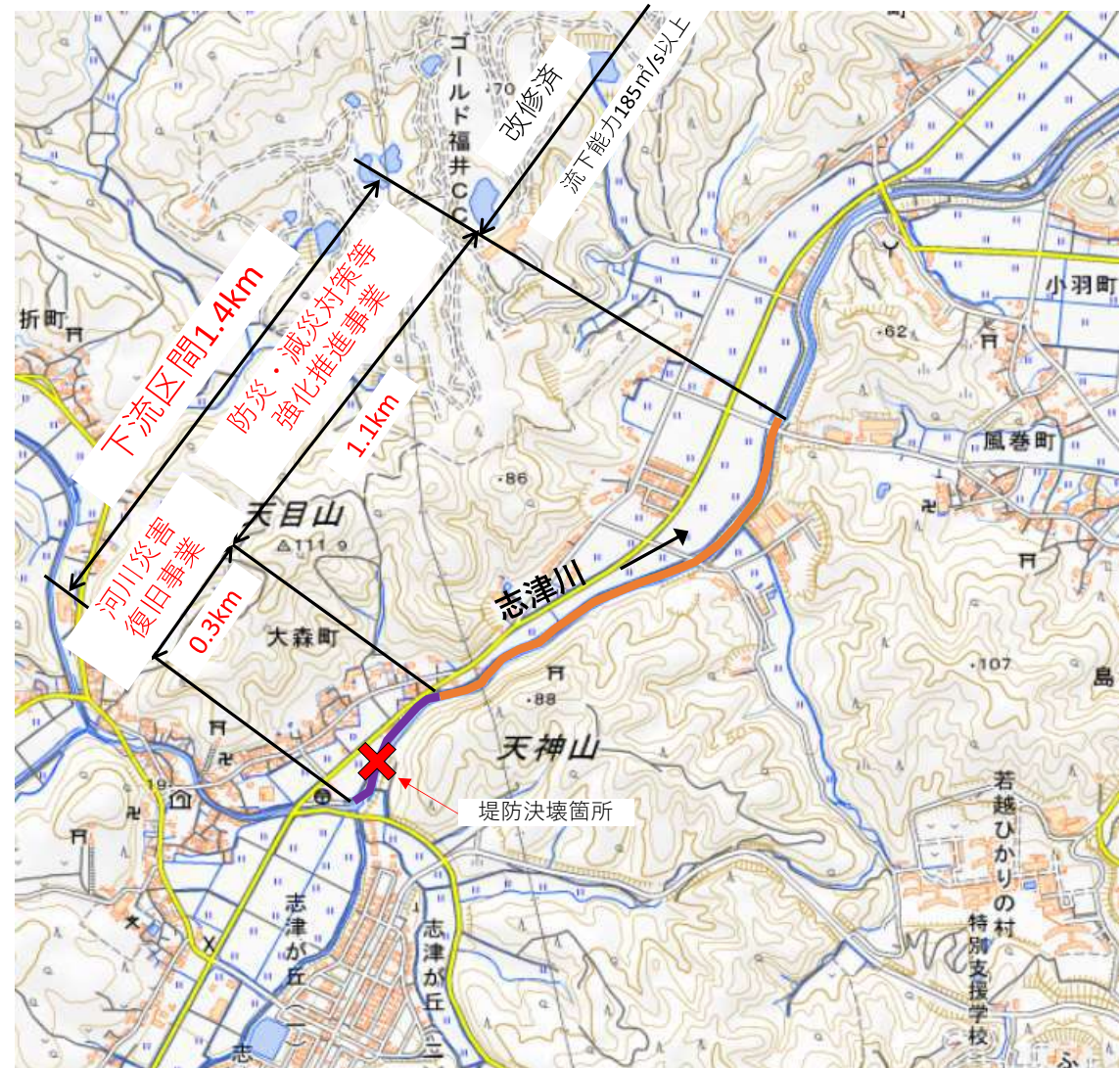
越水させない原形復旧

越水により、堤防等の施設に被害が生じた場合、被災箇所を原形復旧に当たり、上下流の河川改修計画と整合性の図れる範囲で、堤防の嵩上げ等を実施し、**再度災害を防止**する。

復旧対象流量：当該災害を与えた洪水を対象とした降雨により流量を算出（被災流量）

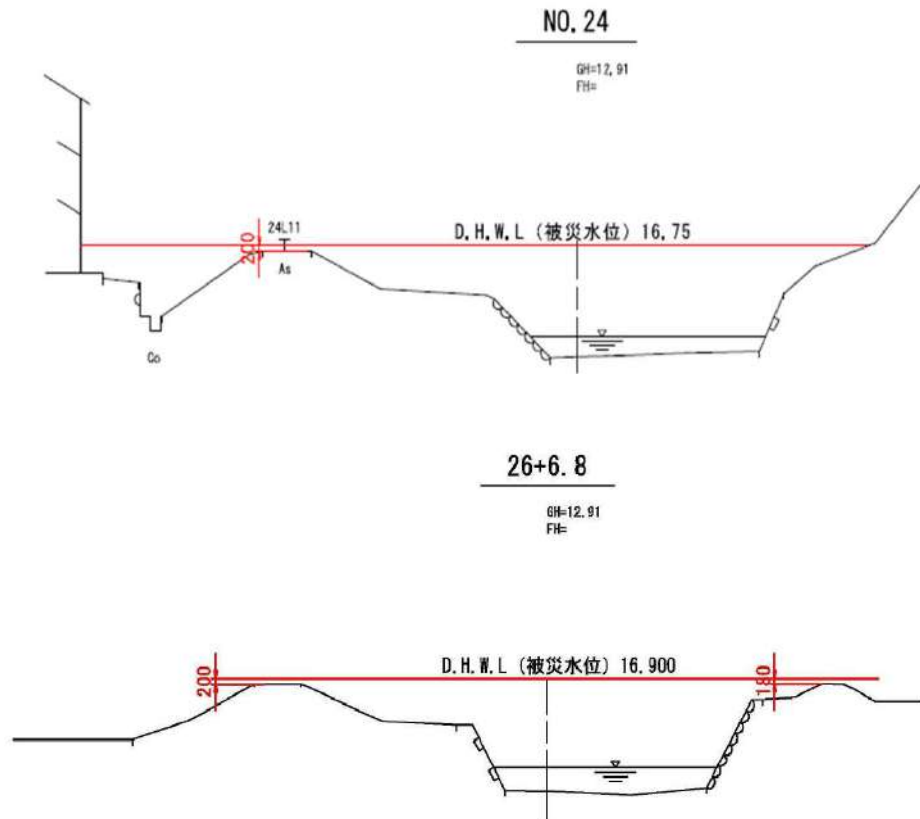


越水区間で洪水痕跡を確認して被災流量を推定



被災流量の算定

- 痕跡を複数個所で確認し、その中で高い位置として2地点を選定
→NO.24右岸、 NO.26+6.8右岸（流されてきた枯草を確認）
- 2地点において、HQ式（水位と流量の関係式）から被災流量を推定。150m³/sを被災流量とした。



測点NO	NO.24	NO.26+6.8
痕跡水位	TP.16.75m	TP.16.90m
推定流量	149m ³ /s	149m ³ /s

河川整備計画の変更内容（新規）

(2) 志津川

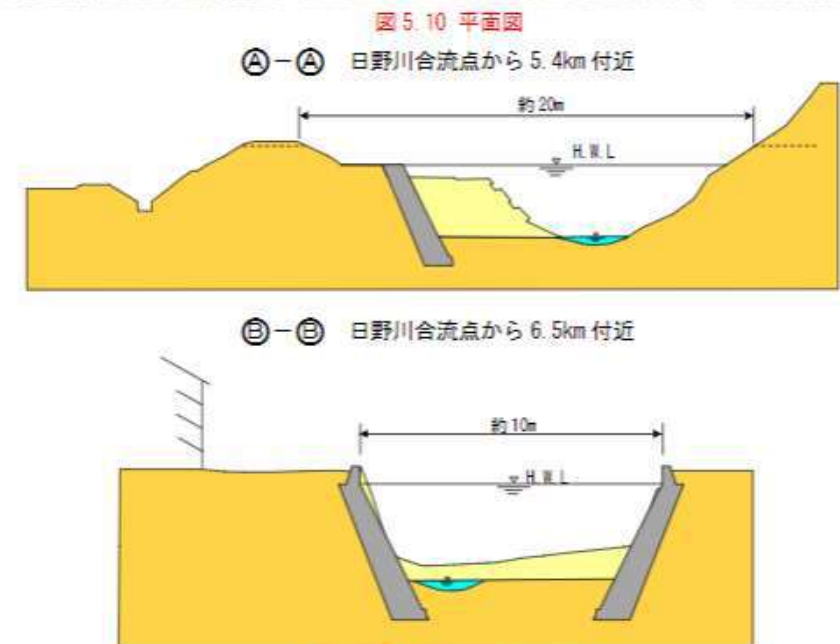
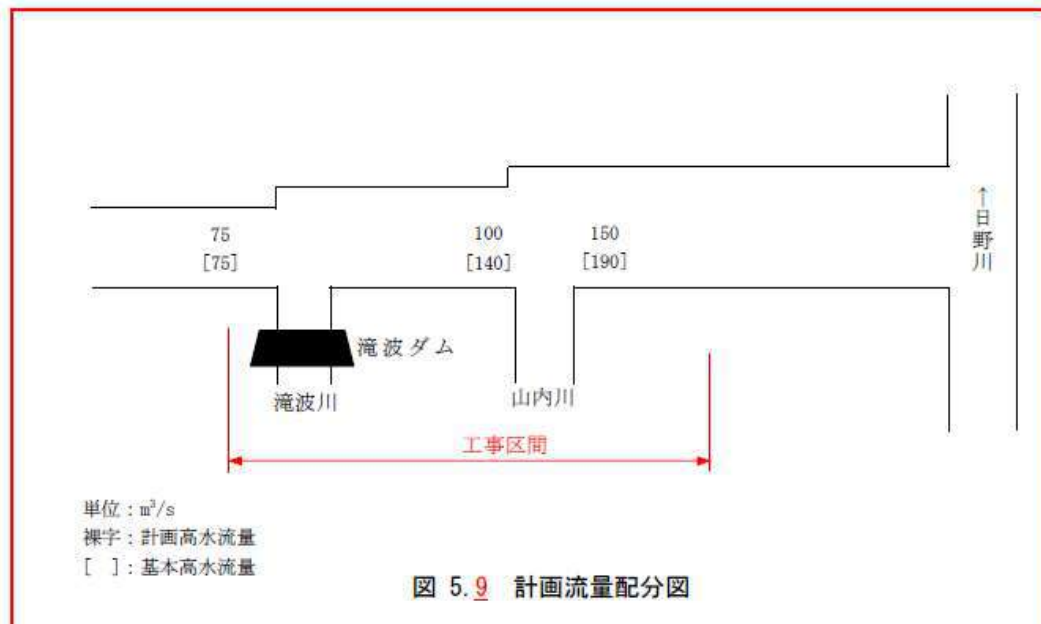
河川工事の目的：令和3年7月29日の大雨による被災流量を安全に流下させ、福井市大森町における沿川の家屋や公共施設等の浸水を防止します。

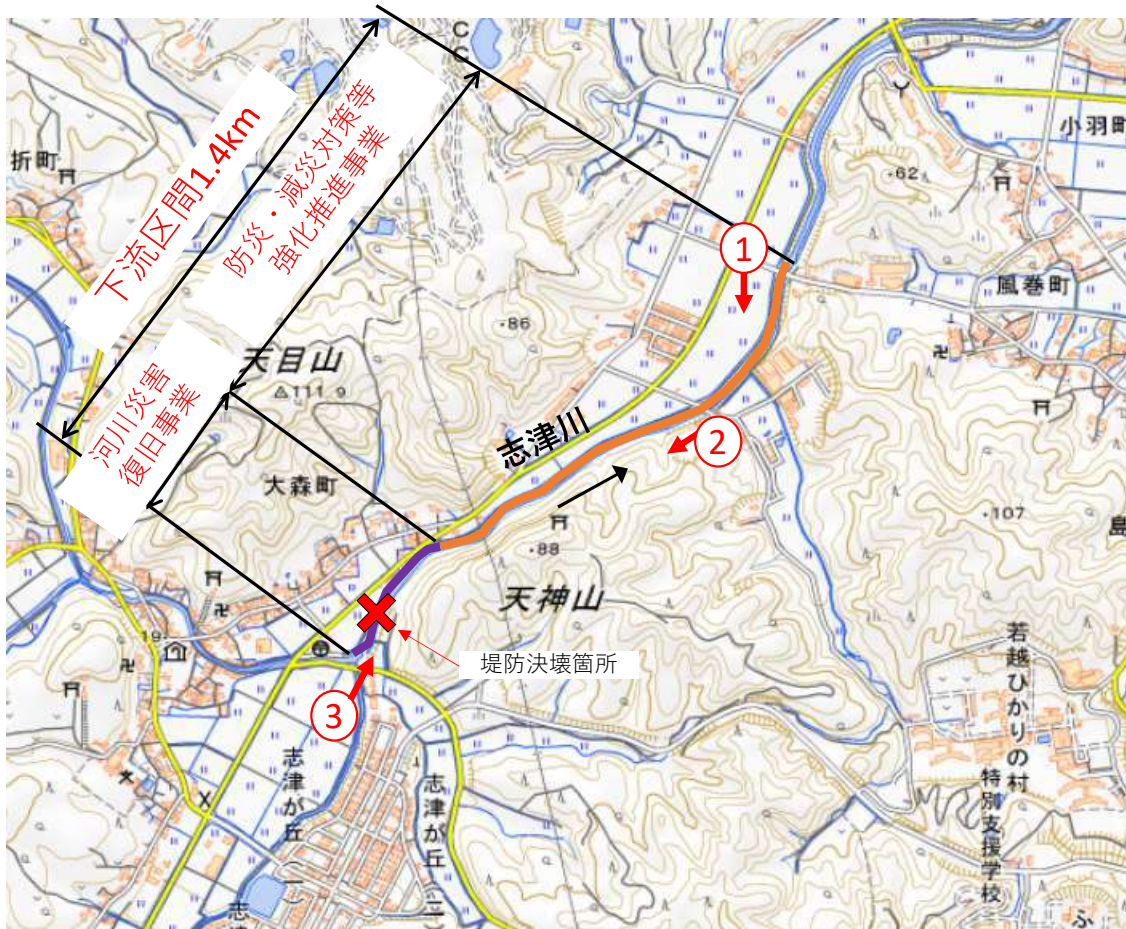
河川工事の場所：福井市大森町地先～福井市滝波町地先までの約2,200m区間。

河川工事の種類：河道拡幅、河床掘削、護岸工

整備にあたり配慮する事項：

住宅密集地については、車や歩行者の通行など居住環境に極力影響を及ぼさないような工事工程、仮設工事を実施します。





写真①



写真②



写真③



撮影日：令和4年6月23日

- 10工区に分割し
令和4年1月より契約
- 令和4年3月より現場着手
- 令和4年度未完了予定